

# 枚方宿の町家が国登録有形文化財に 天保3年建築の旧木南家住宅、造形の規範として評価

◎写真あり 旧木南家住宅 (枚方市文化財課提供)

旧京街道枚方宿に残る天保3年(1832)建築の町家・旧木南家住宅(三矢町)が国の登録有形文化財に登録される。11月18日(金)に文化庁文化審議会から文部科学大臣に答申予定。今回登録されるのは主屋で、同地区に残る町家としては最大級のもの。建築年代が明らかな江戸期の表屋造大型町家として、造形の規範となっていることが評価された。市内に登録有形文化財に登録される建造物は6件目となる。

★旧木南家住宅は旧京街道枚方宿に残る大規模な町家で、今回天保3年(1832)建築の主屋が登録される。市内で現在登録されている国登録有形文化財(建造物)は大阪歯科大学牧野学舎本館、奥野家住宅(春日)、田中家住宅(山之上)、松宮家住宅(非公開)、小野家住宅(新町)の5件で、旧木南家住宅は6件目となる。



写真 旧木南家住宅

★登録有形文化財(建造物)とは、文化財保護法に基づき、保存や活用についての措置が特に必要な文化財建造物で、文部科学大臣により文化財登録原簿に登録される。対象は建築後50年を経過している建造物で、国土の歴史的景観に寄与しているなど、一定の評価を得たもの。今回、旧木南家住宅は登録基準(二)「造形の規範となっているもの」に該当するものとして評価された。

★旧木南家住宅は、11月18日(金)に開催される文化庁文化審議会文化財分科会での審議・議決を経て、文部科学大臣に答申される予定。今後、官報告示を経て正式に有形文化財として登録される。

★本件は、文化庁、大阪府教育庁でも同日、「国登録有形文化財(建造物)の登録について」として、各担当報道機関に発表をしているものの中の枚方市該当分。

★旧木南家住宅は現在も居住しているため、見学できるのは外観のみで、建物内部や敷地内は非公開。

## ★旧木南家住宅の概要

### ・名称及び建築年代

旧木南家住宅主屋：天保3年（1832）／令和元年改修

### ・所在地

大阪府枚方市

### ・登録基準

基準（二） 造形の規範となっているもの

### ・建造物の説明

旧木南家住宅主屋は、枚方宿<sup>ひらかたしゆく</sup>の街道に南面して所在する旧家の主屋。木南家は、江戸時代、泥町村の庄屋と問屋役人を兼任した家柄。主屋の間口は10間半であり、町屋が多く残る旧枚方宿地区内で最大級の規模であり、「表屋造※」と呼ばれる構成となっている。切妻造り平入りで虫籠窓と出格子を見せる奥行一間半の表屋<sup>おもてや</sup>と、中庭を介して奥行三間の居宅棟が平行して配され、居室側で直交する座敷棟が繋ぐコの字平面を持つ。表屋造を基調にしつつも、表屋造の構成は土間列廻りに留まり、座敷廻りにおいては複雑な棟構成を取っていることが、本主屋の特徴。また表の棟（表屋）と裏手の居住棟は共につき二階建となっている。棟札には、天保3年上棟と建築年代が記載されるだけでなく、「棟梁三矢邑大工作治郎」と書かれ、地元の大工の存在も確認された。

以上のように旧木南家住宅主屋は、江戸期の表屋造大型町家として貴重であり、登録基準（二）「造形の規範となっているもの」に該当すると評価された。

※表屋造：道路に面した部分に店舗、その奥に居住用の建物を別々の棟として建て、両棟の間は中庭で隔てられ、玄関棟でつなげる形式

<お問い合わせ> 観光にぎわい部 文化財課 ☎072-841-1411